# 六中だより

責　文
宮川英樹

## 【学級人権目標】

１年１組：人に優しく手を差し伸べられるクラス
１年２組：誰にでも手を差し伸べられる
思いやりのあるクラス
２年１組：思いやりをもって
温かみのある言葉をつかおう
３年１組：互いを尊重しあえるクラス

## 人権集会を行いました

六月十五日（火）の六校時に人権委員会主催の「人権集会」を行いました。

今回は、人権擁護委員の水本様（本校卒業）と山田様に来ていただき、「えっ？これも人権？」というテーマで動画を中心に自分の心の中にある偏見や思い込みについて振り返りました。

動画の中には「いじめや差別を気付いているのに何もしないことは、いじめや差別をやっていることと同じ」ということや、「その人自身を見ず、本人以外のことで判断しようとすること」「家事分担を男や女という性で決めること」等の不合理さを考えさせるシーンがあり、生徒たちはその中にある人権問題や自分自身の意識について考えていたようでした。

動画を見ていて、偏見や思い込み等は、生徒たちよりも長く生きている私たち大人の方が多く持っているのではないかと考えさせられました。

集会の終わりには、私から生徒へ「先生だから、大人だから、保護者だからといって常に正しい考えを持っているとは限らない。相手が誰であれ『おかしい』と感じたら、声に出してほしい。」と伝えました。

「ＳＯＳミニレター」←

また、相談窓口の一つとして、「子ども人権ＳＯＳミニレター」の紹介がありました。切手も必要なく、相談事は直接熊本地方法務局に届きます。

## 八代中体連総体を迎えるにあたって

期末テストも終わり、八代中体連総体に向けて今日から本格的に練習を再開しました。

中体連の観客の入場については、先日学校だよりやプリント等でお知らせしたところです。２週間の体調の記録、また、当日提出が必要な「来場者体調記録表」についても大変お世話になります。

これから中体連の実施まで、感染予防についてそれぞれの立場で特に気を付け、実施に向けて全力を尽くしたいと思います。しかし、相手は見えないウイルスです。どこでどうなるか全く油断はできません。

中体連当日の参加については、県のリスクレベル５における学校の出席と同じ扱いとなります。

また、学校関係者に陽性者が認められ、保健所の指導等により休校期間と大会日程が重なれば、学校として出場ができなくなる場合もあります。

そこでお願いです。たとえそのような事態になったとしても、誰も責めないで下さい。当事者が一番きつい思いをしていること、そして、当事者は被害者であることを忘れず、感染拡大予防のために、みんなで協力するという姿勢でお願いしたいと思います。

## あとがき

今回の人権集会は、身の回りにある人権問題について再認識する集会となりました。

私は身近な「笑い」の中にも人権問題があるように思います。

「笑う」ことは、健康的にも雰囲気的にもとてもいいことです。しかし、自分の「笑い」によって、誰かが辛い思いをすれば、「笑い」は人を傷つけるものになります。

先日、テレビで芸人さんが「最近は容姿を扱うネタで笑いがとれなくなった。」と言っていました。見る側に「これって笑っていいのかな？」という感覚が広まっているからかもしれません。

テレビの芸人さんはプロです。自分がわざと痛い思いをしたり、汚れたり、相方や自分の容姿をネタにしたりして笑いをとる仕事をすることもあります。それを素人の私たちが真似すると間違いなく人の心を傷つけます。

自分が笑った時、その「笑い」が誰かを傷つける「笑い」でなかったかどうか、振り返ることも必要であると思います。